

25th Anniversary

安積合唱協会  
第25回定期演奏会

都山 音楽都市ごおりやま 市民音楽祭主催行事  
楽郡 郡山市民文化センター市民コンサートホール

第6回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞 (公財)福島県文化振興財団助成事業

2018年

2月25日(日)

郡山市民文化センター  
大ホール

開場 13:30 / 開演 14:00

ASAKA Chorverein

本日はお忙しい中、第25回定期演奏会にご来場いただき誠にありがとうございます。  
今年も多くの皆様のご支援により本日の演奏会を開催できますことはこの上ない喜びであり、ご支援を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

また、東日本大震災からの復興に向かう中、充実した演奏活動を行うことができるのは、偏りに、当協会を支えてくださいます多くの方々の温かいご支援とご協力の賜であり、あらためて深く感謝申し上げます。

当協会は、1992年の結成以来、中世・ルネッサンス・バロック時代の甘く美しい教会音楽や古今東西の名曲を中心に演奏活動を続け、これまで、24回にわたる定期演奏会のほか、合唱コンクールやアンサンブルコンテスト、京都バッハ合唱団など県内外の合唱団の方々との共演、さらには、ドイツ、オーストリア、フランスでの海外公演など幅広い演奏活動を重ねてまいりました。

創立25周年となる今回の演奏会は、歌声を通じた新たな絆となることも願い、これまで培ってきた歌声を多くの方々に聴いていただき元気の源となるよう、東日本大震災で被災された地域の方々や未来を担う地元中高生の皆さんなどもお招きし、記念企画のステージも盛り込み演奏いたします。

第1ステージでは、パレストリーナ、ブルックナー、プーランクなどルネッサンス期やロマン派、近現代の音楽を代表する作曲家による様式感溢れる作品をお届けするほか、第2ステージでは、創立25周年記念企画として、濱崎晋氏編曲によるポピュラーソング名曲選の委嘱初演、そして最終ステージでは、フランク・マルタン作曲二重合唱のためのミサ曲をお届けします。

いずれの曲もまさに古今東西を代表する名曲であり、皆様にも馴染みの曲もあろうかと思っておりますので、どうぞ最後までお楽しみください。

東日本大震災からの復興が各地で進む中、創立25周年を一つの節目として私たち自身がこれまで以上に元気に演奏活動を展開し、絆で結ばれた仲間とともに美しいハーモニーを創り上げ皆様に届けていくことが、合唱王国「ふくしま」の復興の証になるものと信じています。

これからもメンバー相互そして皆様との絆を大切にしながら、これまで築き上げてきた演奏スタイルを基本に、優れた音律(チューニング)と各声部の完璧な調整(ブレンド)を備えたオンリーワン合唱団を目指して、また新しい歴史をしっかりと刻んでまいりたいと思います。

最後に、本日の演奏会にあたり、ご来場いただきました皆様、更には協賛団体、賛助会員はじめ関係者の皆様に重ねて御礼申し上げ、あいさつとさせていただきます。

安積合唱協会



第69回 全日本合唱コンクール東北支部大会 平成29年10月 郡山市民文化センターにて

# Program

プログラム

## 第1 ステージ

### さまざまな時代と地域の無伴奏宗教曲

- Sicut cervus 鹿が泉の水を求めるように [Giovanni Pierluigi da Palestrina (1525~1594) 曲]
- Virga Jesse エッセイの若枝は花開き [Anton Bruckner (1824~1896) 曲]
- Salve Regina ようこそ、元后よ [Francis Poulenc (1899~1963) 曲]
- O gloriosa Virginum 栄光あるおとめよ [Krzysztof Penderecki (1933~) 曲]

指揮: 宍戸 真市

## 第2 ステージ

### 創立25周年記念企画 濱崎晋編曲 ポピュラーソング名曲選 委嘱初演 歌い継がれるうた

- ありがとう 作詞・作曲: 水野 良樹、編曲: 濱崎 晋
- いい日旅立ち 作詞・作曲: 谷村 新司、編曲: 濱崎 晋
- 見上げてごらん夜の星を(無伴奏混声4部合唱)  
作詞: 永 六輔、作曲: いずみ たく、編曲: 濱崎 晋
- 糸 作詞・作曲: 中島 みゆき、編曲: 濱崎 晋

指揮: 宍戸 真市  
ピアノ: 数馬 雅子

## 第3 ステージ

### 無伴奏二重合唱のためのミサ曲 [Frank Martin (1890~1974) 曲]

- Kyrie あわれみの賛歌
- Gloria 栄光の賛歌
- Credo 信仰宣言
- Sanctus 感謝の賛歌
- Benedictus 祝福の賛歌
- Agnus Dei 平和の賛歌

指揮: 宍戸 真市

日時 / 2018年2月25日(日) 13:30開場 14:00開演

場所 / 郡山市民文化センター 大ホール

主催 / 安積合唱協会

共催 / 郡山市、郡山市教育委員会、郡山市民文化センター (公益財団法人 郡山市文化・学び振興公社)

後援 / 福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞福島総局、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、福島放送、ラジオ福島、ふくしま FM、福島県合唱連盟、郡山市音楽連盟

## 第1ステージ

## さまざまな時代と地域の無伴奏宗教曲

これからお聴きいただく短い4曲には、共通点と相違点があります。

共通しているのは次の2点です。

## 共通点1：無伴奏の混声合唱曲であること

楽器の伴奏、助けがないことで、声そのものの魅力が前面に押し出されます。特に、ハーモニーの純粹さと言葉がはっきりと伝わるのがこのジャンルの大きな特徴といえます。

## 共通点2：キリスト教、それもローマ・カトリック教会の典礼や祈りのために作曲されたものであること

イエス・キリストの直弟子、使徒ペトロを初代の教皇(法王)としてローマ・ヴァティカンに本拠を置くカトリック教会では、古くから賛歌や祈りの歌が歌われてきました。教会が成立した時期は、ちょうどローマ帝国の時代でしたので、その当時の公用語であったラテン語が教会内ではずっと使われてきました。時代が下り、それぞれの民族がイタリア語、ドイツ語、フランス語などを話し、書き記すようになって、教会ではラテン語が使われてきました(1962年から65年にかけて開催された第2ヴァティカン公会議において、各国語による典礼が認められるようになりました)。そのため、時代や地域が異なる大勢の作曲家によって、同じラテン語の歌詞(たとえば「アヴェ・マリア」)にたくさん曲が書かれることになりました。

そうです、これからお送りする4曲の違い、それは作曲された時代と地域の違いです。その違いを味わっていただければ、と思います。

## パレストリーナ「鹿が泉の水を求めるように」

まずは16世紀のイタリア代表、パレストリーナ(Giovanni Pierluigi da Palestrina 1525-1594)です。ローマ教皇お膝元の聖歌隊長をはじめ、ローマ市内の主要な教会の楽長を務めました。

この時代は、ルネッサンス時代の後期にあたり、「音楽≒無伴奏合唱」と言っていぐらいの状況でした。そのなかでも彼の音楽は、「パレストリーナ様式」という言葉があるくらい、キリスト教会音楽の典型であり、後世の人々から理想的なものとあがめられました。やわらかなメロディーと透明で明るい響きに、聴く者は天国を想い描く…彼の音楽にはそういう魅力があります。

「スイクト・チェルヴス」は、パレストリーナの膨大な作品のなかでも、最も親しみやすい曲のひとつでしょう。もし、あなたが初めてお聴きになって気に入られたら、何十曲、何百曲にも及ぶ豊かな世界の扉の前に立っていることになります。

4声部(高い声からソプラノ・アルト・テナー・バス)が同じメロディーを追いかけてこするように歌っていくポリフォニーと呼ばれる技法が用いられているお手本のような曲です。

(歌詞出典：旧約聖書・詩篇 42 2)

**Sicut cervus desiderat ad fontes aquarum,**

鹿が泉の水を渴望するように、

**ita desiderat anima mea ad te, Deus.**

神よ、わたしの魂はあなたを求めています。

## ブルックナー「エッセイの若枝は花開き」

2曲目は、アルプス山脈を越えてオーストリア、ウィーンに。ブルックナー(Anton Bruckner 1824-96)は、19世紀ドイツ・オーストリアのロマン派の中にあって、交響曲と教会音楽の分野で多くの傑作を残しています。

エッセイ(ラテン語の発音では「イエッセ」、歌いだしは「ヴィルガ・イエッセ)は人名で古代イスラエルのダヴィデ王の父です。マタイ福音書では、アブラハムからイエス・キリストまでの系譜が長々と記されていますが、エッセイもその途中に登場します。また、旧約聖書のイザヤ書では、「エッセイの株からひとつの芽が萌えいで、その根からひとつの若枝が育ち、その上に主の霊がとどまる」と預言されています。ここから題材をとった図像は「エッセイの木」と呼ばれ、教会のステンドグラスなどで見ることができます。「エッセイの枝」が「花開いた」とは、イエスが出現したということを比喩的に語ったものです。

ブルックナーの円熟期、1885年に作曲されたこの曲は、いかにも彼らしい、質実剛健といった趣き、スケールの大きい傑作といえます。4声を基本としながらも、途中、さらにパートが分かれてより豊かなハーモニーが生み出されます。また、「平和を神が再び与えたもうた」の歌詞で4声が一斉に上行するのは和声的に禁則ですが、原始的な力強さ、ユニークな響きを実現しています。

**Virga Jesse floruit:**

エッセイの若枝は 花開き、

**Virgo Deum-et-hominem genuit:**

おとめが 神にして人である御方をお産みになった。

**Pacem Deus reddidit,**

平和を 神は 再び与えられた。

**in se, in se, in se,**

御自らのうちに

**reconcilians ima summis.**

最も低いものと 最も高いものを 和解させた。

(最も低いもの=原罪を背負う人間、最も高いもの=神。この歌詞はキリストが人間の姿で遣わされたことで、原罪が赦されたことを示している)

**Alleluja, Alleluja...**

アレレヤ。

プーランク「ようこそ、<sup>げんこう</sup>元后よ」

プーランク(Francis Poulenc 1899-1963)は20世紀のフランスを代表する作曲家で、オペラなどの劇音楽や歌曲、

器楽曲、さらに映画音楽と幅広い分野で活躍しましたが、宗教曲においても重要な作品をいくつも残しています。彼の音楽の特徴は、斬新なハーモニー(和声法)と、それに乗った流れるようなメロディーにあるといわれます。

「サルヴェ・レジーナ」は、第二次世界大戦中の1941年に作曲されました。「元后」とは、天子・帝王の正妻という意味ですが、キリスト教世界では聖母マリアを指します。つまり、この歌は、聖母マリアに対する祈りの言葉が歌詞になっています。そのなかで、神の命令に背いて知恵の実(リンゴ)を食べたがゆえに楽園を追放されたイヴ(アダムとイヴ、つまり旧約聖書に登場する最初の人間のうちの女性の方)との対比が行われています。イヴによって罪あるものとされたわたしたち人類を、聖母マリアよ、神とイエス・キリストにとりなしてください、というのが、祈りの内容です。

楽譜を見ると、4曲のなかで、いちばん縦が揃っています(ポリフォニーに対して、ホモフォニーといいます)。不安と希望との間で揺れ動くようなメロディーを、明暗・色調が刻々と変わるハーモニーが支えます。そして全員が同時に同じ歌詞を歌うことによる集中の効果も聴き逃せません。

**Salve, Regina, Mater misericordiae,**

こんにちは、元后(王妃)よ、あわれみ深い御母よ、

**vita, dulcedo, et spes nostra, salve.**

わたしたちの命、喜び、希望となる方、こんにちは!

**ad te clamamus**

わたしたちはあなたに向かって叫びます、

**exsules filii Hevæ,**

わたしたちは追放されたイヴの子。

**ad te suspiramus, gementes et flentes**

あなたに向かって嘆息し、悲しみ、すすり泣いています。

**in hac lacrimarum valle.**

この涙の谷(現世)で。

**Eia, ergo, advocata nostra,**

さあ、それでは、わたしたちの弁護者であるあなた、

**illos tuos misericordes oculos ad nos converte;**

あわれみ深いまなざしを わたしたちに向けてください。

**et Jesum, benedictum fructum ventris tui,**

御胎からの祝福された果実、イエスを、

**nobis post hoc exsilium ostende.**

イヴの追放の後にいるわたしたちに差し向けてください。

**O clemens, O pia, O dulcis Virgo Maria.**

おお、慈愛深い、敬虔な、優しいおとめマリアよ。

## ペンデレツキ「栄光あるおとめよ」

ペンデレツキ(Krzysztof Penderecki 1933-)は20世紀後半から現在も活躍しているポーランドの作曲家です。第二次世界大戦後の東西冷戦時、ソヴィエトの影響が強い東側・共産圏(宗教を公式上否定)で、前衛的な手法(簡単に言

えば「変てこりんな音楽」)を用いて「ルカ受難曲」といった宗教曲(ポーランドはカトリック教会が主流で、2代前のローマ法王、ヨハネ・パウロ2世もポーランド出身でした)の作曲家として、世界的に知られていましたが、やがてその作風は伝統的なものへと回帰していきました。「オ・グロリオーサ・ヴィルジヌム」も、そのような流れの中で、2009年に作曲、初演されました。

前の曲と同様に、イヴに言及しながら、聖母マリアに対する呼びかけと祈りが歌われますが、前の曲が内省的なのに対し、明るく外に向かっていく感じで、曲調は対照的です。

最初は女声だけが4部に分かれて歌います。次に男声3部合唱が続きますが、すぐに女声も加わります。その後、声部の数を増してハーモニーを充実させながら進んでいき、希望と確信に満ちたフィナーレを迎えます。

**O gloriosa virginum,**

おお、おとめらの中で栄光ある方(マリア)よ、

**Sublimis inter sidera,**

諸星の間に高くあられる方よ、

**Qui te creavit, parvulum,**

あなたを創られた方(神)を、子(イエス)として、

**Lactente nutris ubere.**

あなたは栄養たっぷりの乳で育てられる。

**Quod Heva tristis abstulit,**

悲しきイヴが持ち去っていったものを、

**Tu reddis almo germine:**

あなたは慈愛の芽(=イエス)で取り戻しています。

**Intrent ut astra flebiles,**

悲しんでいる者たちが諸星の高みへ入れるよう、

**Caeli recludis cardines.**

あな たは天の門を開けていらっやっています。

**Tu Regis alti janua**

あなたは崇高な王の門、

**Et aula lucis fulgida:**

光輝めく宮殿です。

**Vitam datam per Virginem,**

おとめにより与えられたいのちを

**Gentes redemptae, plaudite.**

贖われた者たちよ、喜び讃えよ。

**Jesu, tibi sit gloria,**

イエスよ、あなたに栄光がありますように、

**Qui natus es de Virgine,**

おとめから生まれたイエスよ。

**Cum Patre, et almo Spiritu,**

父なる神とともに、また慈愛深い聖霊とともに、

**In sempiterna saecula.**

いつの世も あなたに栄光がありますように。

## 第2ステージ

濱崎晋編曲 ポピュラーソング名曲選 委嘱初演  
歌い継がれるうた

長い年月聴かれ、歌われ続けている曲は、総じていろいろな編曲に耐える懐の深さのようなものがあるように感じます。これらの曲は、原曲と全く曲調を違うものにしても、大幅にリハーモナイズ(和声の再構成)をしても、その曲の個性が損なわれないような圧倒的な存在感があります。

今回の編曲では、原曲の雰囲気を残すよう努めたもの、リハーモナイズを試みたもの、転調をくり返し色彩の変化を目指したものの、原曲とはかなり趣を変えてドラマチックにしたもの、それぞれコンセプトを変えてみました。原曲の持ち味を損なわずに、新たな魅力が見出せるような編曲になっていればいいなと思っています。

最後にこれらの名曲たちを編曲する機会をいただき、また初演して下さる安積合唱協会のみなさまに深く御礼申し上げます。

平成30年1月 濱崎 晋

## Profile 濱崎 晋

国立音楽大学作曲学科卒業、同大学院作曲専攻作品創作コース修了。作曲を故・溝上日出夫、故・増田宏三、楽曲分析を福士則夫、和声・対位法を小河原美子の各氏に師事。現在福島県の高等学校音楽教員を務める。各種大会や演奏会にて吹奏楽、合唱作品を多数発表。県内の中学校、高校からの委嘱作品も多数作曲している。編曲作品も福島楽友協会合唱団委嘱による「あの頃のうた」シリーズ(Part 1~4)をはじめ多数発表している。またジャズピアニストとしての活動も行っている。平成27年度合唱組曲公募・第26回朝日作曲賞佳作。出版楽譜「3つのマリア讃歌」(パナムジカ刊)

## ありがとう〔作詞・作曲：水野 良樹、編曲：濱崎 晋〕

## いい日旅立ち〔作詞・作曲：谷村 新司、編曲：濱崎 晋〕

## 見上げてごらん夜の星を(無伴奏混声4部合唱)

〔作詞：永 六輔、作曲：いずみ たく、編曲：濱崎 晋〕

## 糸〔作詞・作曲：中島 みゆき、編曲：濱崎 晋〕

## 第3ステージ

## マルタン「二重合唱のためのミサ曲」

本日最初のステージで、短い宗教曲をお送りしましたが、ここでは同じカトリック教会のための音楽でも大掛かりな「ミサ曲」が歌われます。

「ミサ」とは、カトリック教会での礼拝のことです。日曜日やクリスマスなどの祝祭日に行われるというイメージがありますが、実は毎日、ミサは行われています。というのもミサは食事(毎日摂りますね)と関係があります。「最後の晩餐」がミサの起源なのです。聖書を引用します。

このとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えて言われた、「取りなさい、これはわたしの体である」。(マルコ福音書14:22)

そして、「わたしの記念としてこのように行いなさい」と弟子たちに命じたことを受けて、日々、連続と行われている「特別なお食事会」がミサなのです(プロテスタント教会では「聖餐式」という言葉が使われます)。

「特別」ですから、いろいろと飾り立てが入ってきます。賛美の祈りのほか、救いを求める祈りが入ります(これはこれで飾りではなく本質的なものですが)し、祈りの言葉を唱えるだけではなく、歌ってみよう、ということにもなってきます。このような成り行きで「ミサ曲」が生まれるようになりました。

教会の重要な務めのための音楽ですから、多くの作曲家が腕をふるい、技に磨きをかけてミサ曲を作っていました。同じ歌詞に対して、無数の異なる音楽が付けられてきているのです。

同じ囃(演目)をいろんな落語家で聴き比べるとそれぞれの個性・特徴がはっきりと分かるように、音楽を楽しむ側から見ると、ミサ曲というのは、作曲家の個性・特徴をあぶりだしてくれる面白い存在といえるでしょう。

マルタン(Frank Martin 1890-1974)はスイスの作曲家で、第二次世界大戦後の1946年からはオランダに移住して活躍しました。

「二重合唱のためのミサ曲」は、マルタンが30代の1922年から26年にかけて作曲されました。無伴奏・4声の合唱が2つ配置され、計8つの声(さらにパートが分かれる部分もあります)で織り成される響きは重厚で迫力があります。また、そのためにいっそう、繊細で柔和な部分も引き立ちます。

ところでこの曲は、作曲されてからおよそ40年間、歌われる機会がありませんでした。マルタン自身が次のように書いています。

実はわたしは、この曲を歌ってもらいたいとは全く思っていなかった。この曲がもっぱら美的な観点から判定されかねないことを恐れていたのだ。当時のわたしにとって、このミサ曲は、神とわたし自身の間の事柄だった。

ミサ曲を「面白い存在」などというのとは全く対極的な考え方が示されています。神様への捧げ物として最善のものを創る。その出来栄を他人と比較されたり、とやかく言われ

たくない…。「美的な観点から判定される」とは、要するに作品がいいか悪いかを批評される、ということですので、それを避けるには演奏しない、公開しない、ということになります。

しかし結局は、このミサ曲は1963年、彼の最晩年、73歳のときに初演されました。40年近くの時を経て、あるいは死を予感したのか、どのような心境の変化があったのかは想像できませんが、とにかくこの素晴らしい曲が、神のみならず人の世に知られることになったのは喜ばしいことだと思います。(なお付言すれば、マルタンはカトリックではなく、宗教改革者カルヴァンの系統に属するプロテスタントだったとのことでした。したがって、教会からミサ曲の作曲を依頼されることはなく、純粋に自分の意志から作曲したことになります。)

## 1 Kyrie あわれみの賛歌

寄せては返す波のように、救いを求める祈りが果てなく続きます。

## Kyrie eleison:

主よ、あわれみたまえ。(何回も繰り返す)

## Christe eleison:

キリストよ、あわれみたまえ。(何回も繰り返す)

## Kyrie eleison, eleison.

主よ、あわれみたまえ。(繰り返す)

## 2 Gloria 栄光の賛歌

神の栄光を讃える輝かしい楽章です。中間部、救いを求める祈りの部分は、第2コーラスのベースの極低音に支えられた重厚な響きが印象的です。後半は再びきびきびと進み、「アーメン」で頂点を迎えますが、最後の歌詞が余韻を楽しむように静かに繰り返されます。

## Gloria in excelsis Deo.

天のいと高きところには神に栄光

## Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.

地には善意の人に平和あれ。

## Laudamus te. Benedicimus te. Adoramus te.

わたしたちは主をほめ、たたえ、おがみ、

## Glorificamus te.

あがめ、

## Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.

主の大いなる栄光のゆえに感謝したてまつる。

## Domine Deus, Rex coelestis, Deus Pater omnipotens.

神なる主、天の王、全能の父なる神よ。

(キリストへの呼びかけと救いを求める祈り)

## Domine Fili unigenite, Jesu Christe.

主なる御ひとりごイエス・キリストよ、

## Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.

神なる主、神の小羊、父の御子よ、

## Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.

世の罪を除きたもう主よ、わたしたちをあわれみたまえ。

## Domine Deus, Qui tollis peccata mundi,

神なる主、世の罪を除きたもう主よ、

## suscipe deprecationem nostram.

わたしたちの願いを聞き入れたまえ。

## Domine Deus,

神なる主、

## Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.

父の右に座したもう主よ、わたしたちをあわれみたまえ。

(再び讃える部分となる)

## Quoniam tu solus sanctus. Tu solus Dominus.

主のみ聖なり。主のみ王なり。

## Tu solus altissimus,

主のみいと高し。

## Jesu Christe.

イエス・キリストよ。

## Cum Sancto Spiritu in gloria Dei Patris.

聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。

## Amen.

アーメン。

(Cum Sancto 以下、繰り返す)

## 3 Credo 信仰宣言

厳かに力強く始まります。そして歌詞の意味にあわせて、多様な表情を見せながら進みます。

## Credo in unum Deum.

わたしは信じる、唯一の神を。

## Patrem omnipotentem,

全能の父、

## factorem caeli et terrae,

天と地の造り主、

## visibilium omnium,

すべての見えるもの、

## et invisibilium.

また見えないものの造り主を信じる。

## Et in unum Dominum Jesum Christum,

またわたしは信じる、唯一の主、イエス・キリストを。

## Filium Dei unigenitum.

神のただ一人の御子、

## Et ex Patre natum ante omnia saecula.;

世のすべてより先に、父より生まれた主イエス・キリスト。

## Deum de Deo, lumen de lumine,

神よりの神、光よりの光、

## Deum verum de Deo vero.

真の神よりの真の神である主イエス・キリスト。

## Genitum, non factum,

生まれたのであり、造られたのではない、主イエス・キリスト。

## Consubstantialem Patri:

父と一体である主イエス・キリスト、

## per quem omnia facta sunt.

この方によって、すべてのものが造られた。

(キリストの降誕)

## Qui propter nos homines

主イエス・キリストは、わたしたち人類のため、



1992年、中世・ルネサンス、バロック時代の合唱曲を演奏することを目的に、同好の士を募り設立された一般の混声合唱団である。会員は、福島県内外の公務員・会社員・学生など職業、年齢層も多岐にわたっている。設立以来、ほぼ年1回定期演奏会を開催し、その中で節目の15周年にはモーツァルト「レクイエム」、20周年にはフォーレ「レクイエム」に取り組んだ。また、これまでに3回の海外演奏会(1993年にはウィーン、オーバーバルト、ザルツブルク、ミュンヘン各地での演奏、1999年にはフランス・マルセイユにおけるガブリエル・フォーレ合唱団との日仏親善ジョイント・コンサート、2004年にはオーストリア・フォラウ修道院での特別演奏)も実施してきた。

2011年2月からは、穴戸真市氏を常任指揮者にお迎えし、月1~2回程度の定期練習を通じて、古楽の魅力である「優れた音律(チューニング)」と「各声部の完璧な調律(ブレンド)」を目指し活動している。また、全日本合唱コンクールや宝塚国際室内合唱コンクールなどにも積極的に参加しており、2012年には、全日本合唱コンクール全国大会にて銅賞を受賞した。

最近では、2013年と2014年に震災からの復興を祈念し京都府長岡京市で開催されたHarmony for JAPANへの参加をきっかけに、関西の合唱団とも交流を深めており、2015年と2016年には京都バツハ合唱団(主宰:本山秀毅氏)と共演するなど、演奏の幅を広げながら活動を続けている。



安積合唱協会  
役員

理事長	曳地 利光	パートリーダー	ソプラノ	志賀 香織
副理事長	浦部 真平		アルト	山本 清子
指揮	志賀 香織		テノール	渡邊 佳文
総務担当理事	志賀 一郎		バス	浦部 真平
人事担当理事	持田 円	パートマネージャー	ソプラノ	浦部 智子
経理担当理事	斎藤 由紀夫		アルト	樫村 貴久子
企画担当理事	乙高 広幸		テノール	仁井 敏昭
監事	数馬 雅子		バス	桑原 一夫
事務局長	金成 聡司			

安積合唱協会  
団員

ソプラノ	志賀 香織	乙高 宣子	浦部 智子	数馬 雅子	持田 円	穴戸みゆき
	諸岡 唯	神保 明子	阿久津光美	福岡 葵	関 由紀子	生田目友美
	佐藤 優子	加藤 順子	梅宮 優季			
アルト	山本 清子	樫村貴久子	矢野 夏子	塚本 朋子	森 希伊子	金山美和子
	服部 美桜	関根久美子	末永 幸恵	船引 彩子		
テノール	渡邊 佳文	金成 聡司	曳地 利光	斎藤由紀夫	仁井 敏昭	古川 隼斗
	西海石 剛	酒井 道宏	會田 喜樹			
バス	浦部 真平	六角 弘通	武藤 克則	渡辺 均	志賀 一郎	桑原 一夫
	乙高 広幸	影山 洋一	岡部 亮			

1992(平成4)年	5月	設立総会
1993(平成5)年	3月	第1回 定期演奏会(安積歴史博物館講堂)
	12月	第2回 定期演奏会(安積歴史博物館講堂)
		第1回 海外公演(ウィーン、ザルツブルク、ミュンヘン)
	3月	第3回~第8回定期演奏会(郡山市内)
1995(平成7)年 ~2000(平成12)年		
1999(平成11)年	1月	第2回 海外公演(マルセイユ、ラシオタ、アヴィニョン)
1999(平成11)年 ~2000(平成12)年		福島県合唱コンクール及び 全日本合唱コンクール東北支部大会出場(銀賞受賞)
2000(平成12)年	3月	特別公演(会津若松市・会津アピオ内(株)共立土建コンサートホール)
2001(平成13)年	3月	第9回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
	9月	第55回 福島県合唱コンクール(福島市音楽堂大ホール) 金賞
		第54回 全日本合唱コンクール東北支部大会(盛岡市民文化ホール大ホール) 金賞
	12月	第10回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
2002(平成14)年	9月	第56回 福島県合唱コンクール(矢吹町文化センター大ホール) 金賞
		第55回 全日本合唱コンクール東北支部大会(青森市文化会館大ホール) 銀賞
2003(平成15)年	1月	第11回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
	8月	第57回 福島県合唱コンクール(いわき市平市民会館大ホール) 金賞 高野賞
	9月	第56回 全日本合唱コンクール東北支部大会(秋田県民会館大ホール) 銅賞
2004(平成16)年	1月	第12回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
	8月	第58回 福島県合唱コンクール(原町市民文化会館大ホール) 金賞
	9月	第57回 全日本合唱コンクール東北支部大会(山形県民会館大ホール) 銀賞
	11月	やまぐち県民文化祭アカペラフェスティバル招待演奏(秋吉台国際芸術村ホール)
	12月	海外公演記念演奏会(福島市音楽堂大ホール)
	12月	第13回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
		第3回 海外公演(アイゼンシュタット、フォラウ)
2005(平成17)年	3月	法政大学アカデミー合唱団福島公演賛助出演(福島市音楽堂大ホール)
	8月	第59回 福島県合唱コンクール(喜多方プラザせせらぎホール) 金賞 三浦賞 福島県教育長賞
	9月	第58回 全日本合唱コンクール東北支部大会(郡山市民文化センター大ホール) 銀賞
	12月	第14回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
2006(平成18)年	9月	第60回 福島県合唱コンクール(福島県文化センター大ホール) 金賞
	10月	第59回 全日本合唱コンクール東北支部大会(名取市文化会館大ホール) 銀賞
	12月	第15回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
2007(平成19)年	9月	第61回 福島県合唱コンクール(郡山市民文化センター大ホール) 金賞
		平成19年度 全日本合唱コンクール東北支部大会(青森市文化会館大ホール) 金賞
	12月	第16回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
		第24回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール) 金賞
2008(平成20)年	3月	第1回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール) 銀賞
	6月	郡山市民合唱団定期演奏会賛助出演(郡山市民文化センター中ホール)
	8月	第62回 福島県合唱コンクール(南相馬市文化会館大ホール) 金賞
	9月	第60回 全日本合唱コンクール東北支部大会(岩手県民会館大ホール) 金賞
	12月	平FG合唱団定期演奏会賛助出演(いわき芸術文化交流館アリオス音楽小ホール)
		第25回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール) 金賞
2009(平成21)年	3月	第2回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール) 銀賞
	6月	第17回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
	8月	第63回 福島県合唱コンクール(いわき芸術文化交流館アリオス大ホール) 銀賞
	9月	第61回 全日本合唱コンクール東北支部大会(秋田県民会館大ホール) 銀賞
	12月	第26回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール) 金賞
2010(平成22)年	6月	第18回 定期演奏会(郡山市民合唱団賛助出演)(郡山市民文化センター中ホール)
	8月	第64回 福島県合唱コンクール(福島市音楽堂大ホール) 銀賞
	9月	第62回 全日本合唱コンクール東北支部大会(山形県民会館大ホール) 銀賞
	12月	第27回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール) 銀賞
2011(平成23)年	7月	第27回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ヴェガホール) 総合3位(ルネサンス・バロック部門金賞)
	8月	第65回 福島県合唱コンクール(會津風雅堂大ホール) 金賞
	9月	第63回 全日本合唱コンクール東北支部大会(岩手県民会館大ホール) 金賞
	12月	第28回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール) 銀賞
2012(平成24)年	2月	第19回 定期演奏会(三春交流館「まほら」まほらホール)
	3月	希望の歌声合唱フェスティバル2012(いわき芸術文化交流館アリオス大ホール)
		第5回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール) 優良賞

2013(平成25)年	7月	第28回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ヴェガホール)ルネサンス・バロック部門銀賞、ロマン派部門銅賞
	9月	第66回 福島県合唱コンクール(郡山市民文化センター大ホール)金賞
	11月	第64回 全日本合唱コンクール東北支部大会(郡山市民文化センター大ホール)金賞
2014(平成26)年	12月	第65回 全日本合唱コンクール全国大会(富山市芸術文化ホール オーバードホール)銅賞
	2月	第29回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞
	3月	第20回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
	3月	Harmony for JAPAN 2013(京都府長岡京市文化会館)
	7月	第6回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)優良賞
	9月	第29回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ヴェガホール)ルネサンス・バロック部門銀賞
2015(平成27)年	9月	第67回 福島県合唱コンクール(いわき芸術文化交流館アリオス大ホール)銀賞
	9月	第65回 全日本合唱コンクール東北支部大会(宮城県仙台市イズミティ21)金賞
	11月	第3回 ハーモニーコンサート(郡山市民文化センター大ホール)
	12月	第30回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銅賞
	3月	Harmony for JAPAN 2014(京都府長岡京市文化会館)
	4月	第21回 定期演奏会 振替公演(郡山市民中央図書館 視聴覚ホール)
	7月	第30回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ヴェガホール)ルネサンス・バロック部門銀賞
	8月	第68回 福島県合唱コンクール(會津風雅堂)金賞
	9月	第66回 全日本合唱コンクール 東北支部大会(リンクステーション青森)金賞
	12月	第31回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)金賞 全国推薦
	12月	第5回 郡山音楽フェスティバル(郡山市民文化センター大ホール)
	2016(平成28)年	1月
3月		第8回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)銀賞
7月		第31回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ヴェガホール)ルネサンス・バロック部門出場
8月		第69回 福島県合唱コンクール(福島県文化センター)金賞
9月		第67回 全日本合唱コンクール東北支部大会(秋田県民会館)銀賞
11月		第6回 郡山音楽フェスティバル(郡山市民文化センター中ホール)
12月		第32回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞 全国推薦
2月		第23回 定期演奏会(三春交流館「まほら」まほらホール)
3月		第9回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)優良賞
9月		Harmony for JAPAN 特別公演 口短調ミサ演奏会(東北大学100周年記念会館)
9月		第70回 福島県合唱コンクール(いわき芸術文化交流館アリオス大ホール)銀賞
2017(平成29)年		10月
	10月	2016希望郷いわて国体開会式(岩手県北上市)
	11月	京都バツハ合唱団特別演奏会 J.S.バツハ「口短調ミサ」(大阪市いすみホール)
	12月	第33回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銅賞
	2月	第24回 定期演奏会(三春交流館「まほら」まほらホール)
	7月	第33回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ヴェガホール)ルネサンス・バロック部門出場、ロマン派部門出場
9月	第71回 福島県合唱コンクール(郡山市民文化センター大ホール)銀賞	
10月	第69回 全日本合唱コンクール東北支部大会(郡山市民文化センター大ホール)金賞	
11月	第8回 郡山音楽フェスティバル(郡山市民文化センター中ホール)	
12月	第34回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞	

**azbil**  
人を中心としたオートメーション

建物から社会へ、地球環境へ

# アズビル株式会社

ビルシステムカンパニー 福島営業所 024-935-7860

〒963-8014 福島県郡山市虎丸町2-11 郡山虎丸町第一生命ビル  
http://www.azbil.com/jp/  
\* 株式会社から社名を変更いたしました。

音楽・ピアノ・ソルフェージュ

# ピアチェーレ音楽教室

郡山市富久山町久保田字大原 124-11

紅林 美枝  
TEL 024-923-9522

hair make

# Clear

美容室 クリア

小野寺 広美

〒963-8852 福島県郡山市台新1丁目5-8  
TEL・FAX 024-935-3151

ふくしまづくり 新たな挑戦で

**福島民報社**

本社 / 福島市太田町13-17 ☎(024)531-4111(代)

**賛助会員 個人**  
(50音順・敬称略)

乙高 秀雄 1□	金成 文恵 4□	山本 和宏 2□
乙高 フミ子 1□	佐藤 禮子 1□	渡部 京子 1□
影山 艶子 1□	鈴木 哲史 3□	渡部 芳雄 1□
金山 英一 1□	武藤 孝幸 1□	渡辺 正恵 2□
金山 暖子 1□	武藤 春美 1□	

**賛助会員 団体**  
(敬称略)

株式会社コーケン 10□	ホンダカーズ福島 郡山川向店 1□
みんな満足 中国家 1□	安積野菓子処 平田屋 1□

■ 事業内容

設備	清掃	建築	警備
◎電気・空調・給排水・消防 ◎情報通信・搬送・工事診断	◎日常メンテナンス ◎定期メンテナンス ◎特別メンテナンス	◎新築工事 ◎リフォーム&リニューアル ◎建物調査診断 ◎建築資機材の販売 ◎不動産事業	◎施設警備 ◎交通誘導雑踏警備 ◎機械警備・巡回警備 ◎保安警備
サービス	マンション管理	ホテル・旅館	駐車場
◎インフォメーション ◎スポーツ施設管理	◎基幹事務管理 ◎管理員業務 ◎維持管理業務	◎客室整備・パブリック ◎フロント業務	◎駐車場管理 ◎駐車場運営
環境衛生	資産運営管理	太平遠隔管理システム	その他
◎ビル衛生管理 ◎病院衛生管理 ◎廃棄物処理	◎プロパティマネジメント ◎ビルマネジメント ◎ビルコンサルティング サービス	◎TaRMS	◎人材派遣 ◎医療補助業務 ◎造園及び植栽

ISO 9001 JQA QM7230 ISO 14001 JQA EM4792 A861008(01)

全国どこでも太平ビルサービスへ  
いつでもお気軽にお電話ください。▶全国営業網

# 太平ビルサービス株式会社

郡山支店

〒963-8014 福島県郡山市虎丸町21-10 EME郡山ビル2F  
電話番号 024-933-0728 FAX番号 024-933-5754  
ホームページ http://www.taihei-bs.co.jp/

院長 大野 広衛

〒963-8844 福島県郡山市字賀庄 54-1  
TEL 024-937-3775 FAX 024-937-3776  
e-mail koei@safins.ne.jp

～心ふれあう地域医療をめざして～

医療法人社団 恵周会  
**白河病院**  
理事長 本田 恒雄

救急病院

福島県白河市六反山 10-1  
☎0248-23-2700

[外来診療科目]

- 内科 ● 外科
- 整形外科 ● 脳神経外科
- 循環器内科 ● 心臓血管外科
- 消化器科 ● 麻酔科
- 腎臓内科 ● 糖尿病内科
- リウマチ科 ● 人工透析科

Hiroshi Kazuma  
Internal Medicine and Cardiology Clinic

**かずま医院**

内科/循環器科/呼吸器科/外科

医学博士 数馬 博

〒963-8862 郡山市菜根一丁目 15-2 Tel.024-934-7750

[診療時間]		月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
午後	3:00~7:00	●	●	午後 休診	●	●	●

休診日/日曜・祝祭日、水曜午後

日本医療機能評価機構認定病院 地域がん診療連携拠点病院

一般財団法人慈山会医学研究所付属

**坪井病院**

理事長 坪井 永保 院長 原口 秀司

福島県郡山市安積町長久保一丁目 10 番地 13  
電話 024-946-0808  
http://www.tsuboi-hp.or.jp

訪問看護ステーション  
ケアステーションあすなろ  
福島県郡山市駅前一丁目 12 番 3 号  
Tel.024-923-5121

地域とハーモニーを奏でる

nisshindo group

(株)日進堂印刷所  
本社：福島市庄野字柿場1-1(福島西工業団地)  
支社：郡山・浜みらい・仙台・東京  
TEL 024-594-2211 FAX024-594-2041

(株)進和クリエイティブセンター(編集・デザイン)  
(株)エス・シー・シー(企画出版・タウン誌発行)

Shinwa Creative Center  
ふれあいの心をそだてる  
株式会社 進和クリエイティブセンター

企画プランニング、デザイン、コピーライティング、編集、取材執筆、撮影、イラストレーション、外国語翻訳、テープ起こしリライ、各種広告物、POP、出版・刊行物の企画・編集・制作、各種映像ソフトの企画・制作、CI計画

〒960-2194 福島市庄野字柿場1-1 TEL(024)594-2145 FAX(024)594-2147  
http://www.nisshindo.co.jp/cc/

**JA 福島厚生連 塙厚生病院**

院長 佐川 恵一

〒963-5493 福島県東白川郡塙町大字塙字大町1丁目5 TEL (0247)43-1145 FAX (0247)43-3394  
https://www.hanawa-fkousei.jp/

はなわ訪問看護ステーション TEL (0247)43-0073 FAX (0247)43-0073

塙厚生病院居宅介護支援事業所 TEL (0247)43-1105 FAX (0247)43-1394

介護老人保健施設「久慈の郷」 TEL (0247)43-1101 FAX (0247)43-2520

**JA 福島厚生連 白河厚生総合病院**

〒961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎2-1  
TEL (0248)22-2211 FAX (0248)22-2218  
URL http://www.shirakawa-kosei.jp

【受付時間】8:00~11:30  
【休診日】日曜日、祝日、第1・3土曜日、8月16日、12月30日~1月3日

～PET-CT がん検診を実施しております～

- しらかわ訪問看護ステーション
- 付属高等看護学院
- 居宅介護支援事業所
- PET 画像診断センター
- 農村検診センター





# *ASAKA Chorverein*

<http://www.asakachorverein.com>

<https://www.facebook.com/AsakaChorverein/>

<https://twitter.com/AsakaChorverein/>